

## 建設水道委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成27年 2月10日 開会 9時57分 閉会 11時35分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

簀戸利昭 三輪順治 柳井一徳 惣台己吉  
大滝文則 藤原清和

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 副議長 上野安是

(3) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄

主任 藤井隆史

### 6. 傍聴者

なし

### 7. 発言の概要

**委員長（簀戸利昭君）** それでは、皆さん、おはようございます。

少々時間に早いようですが、皆さんおそろいのようなので、ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

〈所管事務調査〉

〈農産物の井原ブランド化について〉

**委員長（簀戸利昭君）** まず、前回までの委員会での協議事項のおさらいをいたします。

農業班が作成した報告書案を確認していただきました。字句の整理等につきましては、次回委員会で行うと決定いたしました。

農業班から補足説明等がありましたらお願いをいたします。

**委員（柳井一徳君）** 前回の委員会のときに大滝委員のほうから要望があったと思うんですが、企業班のほうと同じように、経緯のところに建設水道委員会の委員名を入れたほうがいいんじゃないかというふうになっておりました。そこについてはいかがかお伺いしたいなと思います。入れたほうがいいんじゃないかなと。

**委員長（簀戸利昭君）** というご意見がございましたが、これに対してのご意見はほかにございませんでしょうか。

**委員（三輪順治君）** お手元の資料の右下のほうに2ページとありますが、「はじめに」の後に2ページに二重丸で2点あります。これを書き込むかどうかについては今検討中でございます。全体とのバランス、企業班との関係もありますので今保留にしています。これが、1点。

それから、中身に入っていった一部資料がまだできてないのがありまして、それは6ページです。鳥獣被害の拡大というところで、私の記憶では当委員会のほうに担当部局から被害状況の資料が出たやに記憶はあるんですが、事務局に確認したらどうもないということで、確認しますが、委員会に出されてない場合は委員会のほうとして鳥獣被害の今日的な状況、過去5年か10年ぐらいをさかのぼれば、多分右上がりになって上がっていると思いますので、具体的な数字を上と同じように10年前と現在というぐらい、あるいは5年前と現在というぐらいで比較をした2行程度が加わると、こういうことで考えております。補足でございます。

**委員長（簀戸利昭君）** 今、2ページの二重丸のところ、地方創生と次の倉敷、福山中核都市圏のビジョン等については検討中ということでありましたが、いかがいたしましょうか。

あと、6ページの鳥獣被害の拡大ということで資料がまだできていないということでありまして、いかがいたしましょうか。

それと、柳井委員が先ほど言われました経緯のところに委員会の名前を入れるかどうかということでありましたが、いかがいたしましょうか。

**委員（三輪順治君）** まとめ方の仕方でありましてけれども分冊形式で、順番はどうであれ2分冊で農業関連、それから企業等関連。2分冊にした場合にそれぞれはしがきを持っていくという、今現在予定もありますし、合綴して建設水道委員会として2テーマをまとめるという方法もあると思います。

これは、修文作業になりますので一定ではできます。しかしながら、名前を入れる件については私は賛成でございます。分冊であれ合冊であれ、一義的にはこの委員会でこの報告書なり提言者の責任を負うわけでございますから、一義的には委員会の委員の名前を、全委員の名前をフルネームでお書き入れするということは私は賛成でございますので、よろしくお

取り計らいくださいますようお願いいたします。

**委員長（簀戸利昭君）** 委員名は、全員の名前を入れるというようなご意見であったろうかと思いますが、それについての他の委員のご意見はいかがでしょう。

**委員（藤原清和君）** 当然誰がしたんかわからないんだから、ちゃんと名前を入れていくべきだと思います。

それからもう一つ、お互いに企業班、農業班と別々にありますけども、できたら建設水道委員会にどんとね、今合作というんが一緒に、分割じゃのうて一緒にしたもんで、「はじめに」のほうは。それで、企業班はこういうな形、農業班はこうなるとと、企業班はこうなるととというふうにわかるように1冊にしたほうがええんじゃないかなというふうに思うけど。

もう一つは、2ページのことで、先ほどわしが一番に手を挙げたのはここは何でしょうかと聞こう思うたんじゃけど、二重丸のところあるでしょう。これなんかについてはどうするかということ、今考え中じゃということって言われますけども、これをどういうんか知らん、これをざあっと大きゅう国のやり方、倉敷や福山のことにしてもどっかへ簡単に入りゃあ入れりゃええけども、別にここだけクローズアップしたような格好にせんでもええかな思うてみたりしよんですけど、そんなん含めながら全体として農業班はこうまとめたというのでやっていきゃええんじゃないかな思いますけど。名前を載せられたらいいと。6ページは何じゃたっけ。あ、6ページはこれは出てくるわな、データが。データを入れりゃええだけだから。それでうまいことできればいいがなと思いますけども。一番最後のページはどうなるんです、笠岡市や浅口市やいろいろあるけど、各市町の一覧表となつとるけど。これについては、前のページのあれを見るんじゃないんじやろう。

**委員長（簀戸利昭君）** 別紙の5ということで、最終の15ページですか、他市の動向が書いて記入されていないようですが、それでどうなのかというご意見だったろうかと思いますが、これについてはどうでしょうか。

**委員（柳井一徳君）** これは調査してみたんですけども、井原市と同じ項目、似たような項目で拾い上げるということが非常に困難で空白しております。ですから、これは、他市は削除してもいいんじゃないかな、前ページそれから前々ページの細かいこと、似たような施策、支援策、補助金制度、そういったものについては明記してあるんで拾い上げたんですけども、事業については、项目的には難しいなと思って載せてません。ですから、委員長、これはもう他市のほうは市名は外してもいいんじゃないかなと思うんですけども、井原市だけの事業だけにしたほうが。

**委員長（簀戸利昭君）** 井原市だけの事業で笠岡市、浅口市、総社市、高梁市、矢掛町は削除というご意見ですが、それでよろしいでしょうか。

委員（三輪順治君） 結構だと思います。表題が、ですから井原市農林関連実施事業一覧表等の表現にして、井原市を上へ上げて、目的・趣旨のところは簡略化されてますね。概要を右のほうへ持ってくれば少し書けるんじゃないですかね。それで、表としては残していこうという意味でよろしいですね。以上のような整理をかけた表にし直しますということでよろしければ、そのようにさせていただければと思いますけども。

委員長（簀戸利昭君） 別紙5は、各市を井原市に書きかえるということと、あとは削除ということで。目的・趣旨の後に概要というご意見でしたが、いかがいたしましょうか。

委員（柳井一徳君） 今概要まで詳しく入らなくても、目的・趣旨があれば大体のところは執行部にこれを見ていただく上でもおわかりになると思いますし、生産者の方々等々の話をする中でも、こういった事業はこういう趣旨・目的なんだよという説明で十分だと思うんですが。

委員長（簀戸利昭君） 概要までは記載の必要がないというご意見でしたが、ほかの委員さんのご意見はいかがでしょう。

委員（三輪順治君） 原案執筆者のほうから今意見が出ましたので尊重したいと思います。したがって、右のほうは全て削除してバランスをとった表にするということで賛成したいと思います。

委員長（簀戸利昭君） ごめんなさい。別紙の5ですか、15ページのあれは概要を削除ということでよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員（大滝文則君） 2ページの件ですけども、地方創生の方向性についてはまだこれから情報が入ってきて、農業班で一応書いたようになってますけど、この件の2点については相談がなかったもので、ここでこの間メールで来てから初めて知ったわけですけども、まだ方向性が定まってないし、これから市のほうも地方創生の計画を立てるということで、ここで議会としてするのは無理があるんじゃないかと思うんですけども、その辺どうなんですかね。

委員長（簀戸利昭君） 今、地方創生と財政についての方向性ということと、倉敷、福山地方中核都市圏のビジョンということの内容については、ここで上げるのはどうかというようなご意見のように思いましたが、いかがいたしましょうか。

委員（三輪順治君） もちろんこれらについて、各論に入ってまで書き込むことはできません。ただ、国においてさきの閣議において、昨年ですけども、地方戦略の決定がなされており、倉敷、福山についてはそれぞれ中枢都市圏、今名前が変わりつつありますけれ

ども、大きな方向性が出ております。したがって、書くとしても合わせて2行とか3行とかそのレベルで書き込む。いけなければ、今大滝委員がおっしゃることもよくわかるので、この期においてはあえてこれを取っていくということもあり得ます。書くとしても3行から4行でおさめていくと、名状だけは残しておく、こういう趣旨でご理解いただければいいかというふうに。これは、最初にも私申し上げましたように、合綴して一本の報告書にして中に2つ展開するということになれば、「はじめに」も合綴せにゃいけないので、「はじめに」という中の合綴の、単純に言えばこれが別冊1としましょうか。この別冊1の頭に、当然委員会の形も出てくるんですけど、そこの今回の所管事務で取り上げた内容についての、委員会としての考え方の基本のところに触れとくと。別にこれは固執しませんので、取ろうということであれば取りゃええし、載そうということになればどういう形でも載せられるということです。

**委員（大滝文則君）** 表現力が違うかもわかりませんが、財政を含めた地方創生の国の総合戦略、地方を含めた部分と今倉敷、福山地方の中核都市圏のビジョン、この2つというのは非常に大きなテーマであって、一つ一つは所管事務調査に該当するぐらいのレベルの話であります。そこをどのようにここへいくというのは無理があるんじゃないかというんで、あえて書き入れる必要はないんじゃないかということも思うんですけども。これは、これから先の大切な数年間の問題点であると思うけども、先ほど言ったように。一つ一つがじっくり勉強してもいいようなテーマであるんで、そちらのほうへ委員会としてその部分のある部分を所管事務調査に取り上げてもいいぐらいのテーマだと思いますけども、そのあたりどうでしょうか。

**委員（柳井一徳君）** 今大滝委員がおっしゃいましたけれども同じような意見で、地方創生と財政に関しても、表題6も9ページにもさらっと触れてあります、人口減対策としての地方創生。そういうふうなことでこういう情報が入っておるとことはわかっておるといふことで、今後のテーマとしてというような感じでいいんじゃないかなというふうに思います。

中枢都市圏についてもせんだっての報道でもありましたけど、備後圏で80万程度の都市になるっていうんですかね、7都市、7市2町で。ですから、まだまだ首長会議がずっと続いている段階ですんで、それにも余り触れることもないんじゃないかなというふうに思います。さらっとそういう動きがある程度の知らせめでいいんじゃないか、告知でいいんじゃないかなというふうに思います。

**委員長（簀戸利昭君）** 藤原委員、何かご意見、地方創生と倉敷、福山の中枢都市圏のビジョンを入れるか入れないかということ。

**委員（藤原清和君）** 検討中じゃというて今副委員長のほうから言よっちゃったから、そ

れについてはさっきも意見言いましたけども、くどくどと言うんじやのうてさらっとどっかへ入れたほうがええんじゃないかなというふうに、私はさっき言うたんですけど。

**委員（惣台己吉君）**　さらっと入れるというて、これから避けて通れない課題ということは確かに、それは文言入ってもそういう形でしたらいいんじゃないかなと思うんですけど、これを掘り下げるといって大滝委員が言われたように、これは所管事務調査としても非常に難しいテーマだと思います。さらっと入れる文言にもよるといいます、入れるとすれば。

**委員（三輪順治君）**　今皆様方のご意見をお聞きしまして、正直なところ3行では事足りないという、内容が深いということなんで、一応検討はしておるということではありますけれども、先ほど大滝委員それから柳井委員がおっしゃったことが、今の時期では正しい判断だろうというふうに思います。それから、藤原委員がおっしゃった案でも、そういう視点は実は今9ページのことをご紹介なさいましたけども、既に一部入っております、一部中身で受け止めさせておりますので、あえて表紙に書かなくても意は通じます。ただ、2つの大きな流れが、井原にとって大きなこれから先を決める機になるということであえて言ったわけでございますので、大方の意見が今取り上げてやろうということになると、少し次の委員会の方にもプレッシャーを与え過ぎることにもなりかねるという危惧もありますので、提案しております農業班からの中間的なまとめから皆さんの意見に対して削除すると、しかし意味合いはそういう文言を含めて書いておるつもりであるという理解をしていただいて、これから当委員会の責任として発行するわけですから、そういう意味をひとつごしんしゃくいただいた上で、取り扱いのほうをよろしくお願ひしたいと思います。したがって、2ページに書いております検討中というのは取り下げてこれは抹消という形でよろしくお願ひしたいと思います。

**委員長（簀戸利昭君）**　それでは、二重丸の5行を削除ということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）**　それと、先ほども言われましたが、有害鳥獣被害の拡大ということはどうされますか。次の委員会まで持ち越しますか。

**委員（三輪順治君）**　先ほど資料を手に入れてあるものをということを行ったんですが、これはあえて数字があったほうが生々しいという意見があれば数字を入れますが、今までもこういうのはわかっとならということになりゃあ、鳥獣被害の拡大だけでデータは載せない選択肢はありますんで、皆様方がどう思われるかによってデータを載すか載さないか決めますんで、どうぞ忌憚ない意見を下さればと思います。

委員（大滝文則君） 副委員長、簡単に入るんですかね、データは。

委員（三輪順治君） 入ります、入ります。5年前と今現時点、平成25年度の被害額と例えば5年前、17年、それは出ます。2行ぐらいですけどね。

委員（大滝文則君） 簡単に入るんだったら入れてもらってください。

委員（三輪順治君） はいはいはい。どうでしょうかね、企業班の方と。

委員長（簀戸利昭君） 平成25年の被害を入れるということで。

委員（藤原清和君） 明確なデータが出ておるところをぽっと載せりゃあええんじゃねえかという、こっちに前あるように、同じようなデータを、明確なところを載せていきゃあええんじゃないかな、要するに。

委員長（簀戸利昭君） 表ということでしょうか、藤原委員。

委員（藤原清和君） 表じゃなくて、ここにしとるように、同じように簡単に入れるというあれですから。そりゃあ、データが明確なところを持ってきてぽっと入れてたんが一番ええんじゃないかなということ今言いましたから。

委員長（簀戸利昭君） ああ、済みません。

簡単に被害の拡大として入れるということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員（三輪順治君） ありがとうございます。それでは、ここへデータを対比できる形で、直近とそれからさかのぼることが例として17年が挙がりましたけれども、できるだけ20年とか結構長い目で見た数字を載せてますので、さかのぼれるだけさかのぼってデータがとれる範囲で対比して、被害も当然、鳥獣保護の関係もあるんだけど、ふえとるということがわかるような年数は一任をさせていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。

委員長（簀戸利昭君） よろしいですか。

#### 〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） ほかに何か字句の整理等で各委員からご意見があれば。

議長（宮地俊則君） 今の何ページ、5ページですか。5ページ、6ページなんですけどいろんなデータがあって、平成12年と22年を対比しとんですが、5ページの一番下と次の6ページの左側、平成2年でええんですか、12年じゃねえん。

委員（三輪順治君） 確認します。

議長（宮地俊則君） いやいや、ここだけ同じデータで年数が20年前と10年前との20年間と、間違いじゃなければ問題ないんですけど。

委員（三輪順治君） データ作成者において私ども確認をします。12である可能性が高いと思います。数字をつづりよる関係で飛んでると思います。耕作放棄地の右のページの上、6ページの右上も平成2年になってますが、これも確認をさせてください。いずれにしてもデータは残りますので、出典が明らかなものからこれを確認して、私の責任において数字をつくらせていただきます。なお、機会があれば農林担当部局のほうで数字を押さえさせておきたいと思います。これは、統計数字ですから変わることはまず基本的にならないんですが、合併等がありますので、10年前ならいいんですけど20年前になると美星、芳井がありますから確認をします。いずれにしても、これも含めて一任をさせていただければ、農林課のほうとも数字の確認を含めてやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたしたいと思います。

委員長（簀戸利昭君） これは、それでも岡山県のデータですね。

委員（三輪順治君） だから、それも含めて、全部含めて全部確認。

委員長（簀戸利昭君） 確認をしてまた表記されるということでございますがいかがでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） では、そのように副委員長に一任でよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員（柳井一徳君） 単純な質問をして申しわけないです。各ページの下に井原市議会建設水道委員会平成26年度という文言があるんですが、これは前はなかったように思うんですが、何か意図があつて。

委員（三輪順治君） 意図はありません、全くない。ページを打つときに、今ごろソフト上にヘッダー、フッターというてありましよう。ヘッダー、フッター、フッターしたらいろんなパターンが出てきて、ここへ文言とページが入るなということで、文言を入れたときにダブるんですけども。どのページが独立して歩いてもこうやっとならば、ああこれはこの資料じゃなというのがわかるから、あえて一遍こうやうにつくってみたんです。違和感がありゃ取ります。どがんでもします。

委員（柳井一徳君） それでしたら、後は企業班のほうになると思うんですが、企業班の



ほうへも同じように入れたほうがわかりやすいかなというふうに思いますんで、そこんところはまた後で。

委員長（簀戸利昭君） 下の見出しということになったら、ページのほうのところの行については検討ということでもいいですか、後で検討ということ。

議長（宮地俊則君） 2ページの「はじめに」の後ろに井原市議会と入っとなんですが、表紙に建設水道委員会と入っとなんで、ここに井原市議会と入れるのであれば建設水道委員会と入れられたほうがまとまってとか統一性がある。

委員（惣台己吉君） 直接は関係ないと思うんですが4ページ、これは建設水道委員会でも視察へ行ったことでされてるのは非常にいいことだと思います。

以上。

委員長（簀戸利昭君） 2ページの井原市議会とあるのをどうされますか。議長は建設水道委員会にしたほうがいいんじゃないかという。取るか、取ってしまうかということです。

取ることでよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） ほかに何かご意見ございますでしょうか。

#### 〈なし〉

委員長（簀戸利昭君） なければ訂正をしたやつをいつ検討するのでしょうか。期日も議会も近づいておりますんで、いかがいたしましょうか。

委員（三輪順治君） それは、今議会が27日から始まります。27日の冒頭、市長の提案理由の説明、今回所信表明を含めてでしょうけど、ありました後、通常建設水道委員会があります。そのときではいけないんですか。その間にとるのは難しいと思われまして、そのときにしていただければよろしいかと私は思います。

委員長（簀戸利昭君） 建設水道委員会、27日の開会日ですかね。27日が開会日、それで23日に議運という形なので、この取り扱いは報告書の完成を見るのか見ないのかということです、委員会の中の。ですから、23日までにしておかないと無理があるのかなと。

委員（藤原清和君） 今企業班もそれから農業班も、農業班は大方もう詰めが来ておるから、あとは最後修正したとこだけ修正すりゃそれで終わりじゃ思うんです。農業班は済んでないから。

もう一つは、先ほど言うたように建設水道委員会ですんでから、同じもののところの

頭じゃな、頭はメンバーとかこういうもんも全部一括して載せとかないとばらばらじゃいけんから。企業班は企業班で載つとる、農業は農業で載つとるんじやのうて同じところは同じように載せといて、それからちゃんと分けてつくったものにせにゃいけんから、早く企業班のことを済ませてそのことについてはやりましょう。そうせんとばらんばらんばらんばらんなるけえ。

**委員長（簀戸利昭君）** なかなか話が前後しとりますが、農業班についてはまだ今のところ未完成ということで、まだ最終段階をしていかなきゃいけんのかなという気はいたします。農業班のほうはまだ中途ということでもありますので、また後日ということをお願いを、後で決めるということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** それでは、ほかにご意見ございますでしょうか。

#### 〈なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** なければ農業班については後で協議することといたします。

#### 〈企業等誘致について〉

**委員長（簀戸利昭君）** まず、前回までの委員会での協議事項のおさらいですが、内容につきましては農業と同様であります。報告書案につきましては最後のページの「終わりに」の部分について修正もしくは削除するということでございました。報告書の内容につきましては、最後のページの「終わりに」の部分について調査結果と重複するというご意見がありましたので、調査結果までで終了することとし「終わりに」を削除いたしました。なお、資料編につきましては今までのままですので、本日は割愛させていただいております。字句の修正等につきましては企業班において済ませております。前回の委員会においても委員から特にご意見をいただいておりますので、字句の修正についてはないものと考えております。

企業班から補足説明等がありましたらお願いをいたします。

**委員（藤原清和君）** 今委員長のほうから大分説明してもらったから企業班のは別段ないんですけども、この11ページのところへ、下のところへ27年2月があつて、井原市議会

建設水道委員会委員長簀戸利昭とありますが、これはもう必要ないんじゃないかなと思います、この辺は。名前をここんとけえ建設水道委員会の委員長の名前を入れるということが、余り関係ないかな思よんですけど。

それともう一つ、各ページにそれぞれ資料何ページ参照とあります。そういった形で企業班、前にまとめておりますけども、それでいいかどうかだけ皆さんに認めてもらうてオーケーなら、それぞれのページのとけ資料をつけるということはなかなか複雑になってくるから、資料は資料で別にするというで納得いただければ一番いいんじゃないかなと思いますけども。企業班ではそれだけです。

以上です。

**委員（三輪順治君）** 納得します。それで、資料何ページと書くよりも資料編何ページ、編というのを書いていただいたほうが独立されますので、要らんことですが。農業班も資料編があるかも。

もう一つ、実はヒアリングしてますよね、それぞれに、全員で。そのヒアリングをあえて名前を伏せるというか、何月何日にヒアリングした結果を大体A4で2枚ぐらいにまとめてます、農業も企業も。それを、資料編のところへ合綴して合わせてやると企業も生きてくる。その結果、こういう提言にも結びつく面もありますし、農業班も結果が施策提言のほうにも反映されとるということで、今回そういったものがないので、この際合わせて資料編ということでヒアリングの結果を載せさせていただくということで皆様の意見をお聞きしたいんですが、ぜひ載せてやりたいと私は思っんですけどもいかがでしょうか。

**委員長（簀戸利昭君）** まず、11ページが一番最後のところで委員長名が書いてあるので、これは削除したらどうかというご意見がございましたが、いかがいたしましょう。削除でよろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** その次に、全員でヒアリングをさせていただいております。その資料について入れるか入れないかでよろしいですか。

**委員（藤原清和君）** 副委員長が言われたように、資料編と言われたんかな。資料編という文言を入れて、それについて別冊に重要なもんがあるということがわかるようにすべきだろうということはちゃんと入れてもらいたいと思います。そういうふうに修正していくということでしょう。これは資料編、資料じゃのうて。これもええようにまとめないけんあ、どっちかという。これ1冊、別につけるんじゃ。

それで、今言ようたように経過のところいろいろ、どういう人たちとどういような会

合をしたかということと同じような形で載せるということでしょう。それもピックアップせにゃいけんから、こっちのほうは。日にちと調査……。

どこでどがんことしたか、いろいろせにゃいけんということじゃ。名前は載せないということやけど、どういことかなということ。これは同じように農業班も出とるからね、何月何日にどがんしたというのが載っとんじゃから、同じパターンじゃあるのはあるんじゃけど。

**委員長（簀戸利昭君）** 今、藤原委員が言われたのがわかりにくかったんですが、2ページの5月28日のところに商工観光課と勉強会という記載はあるんですが、これになお何か入れるということなんですね。

**委員（藤原清和君）** これ入れていったら、こちらのほうにいろいろ出しとることがダブってきて、そこ抹消せえとかもうややこしゅうなってくると思うんです。

**委員長（簀戸利昭君）** 撤回していいですか、じゃあ。

**委員（藤原清和君）** じゃから、これでさせてもらやあ一番ええんのかなというの思よんです。先ほど言われたように、どこへどうしたというたら、名前も入れんように、相手の名前も入れんようにとなってくると、余計にこういう形のほうがええかな思っていたりしよんです。具体的に説明せえというたら、それなりにまたそのときそのときに説明せにゃいけんようになりますけどね。100%一から十まで、どこで何時何分からどなたがどがんことをしたとかという、しょっちゅうあちこちへ出ていっとるから。それからまた、コーディネーターの人なんかにもいろいろ相談されたりしとりますから、そんなも全部入れていくということになったら、また複雑になってくるというふうに思います。

**委員（三輪順治君）** 藤原委員のおっしゃることがごもっともだと思います。私はむしろ午前中2時間程度を割いて農業が2回、企業が1回、せっかくの成果をこういう機会に添付してあげたいという気持ちはあったんですが、よく考えますと当時の方のお名前の扱い方とか発言の内容について、当局あるいは担当部署の責任の方からその方がご叱責なされてもいけませんし、あるいは個人的な思いがこういう公文書にまさか載るといことも予見されていないので、これらを介してこの方針がまとまったという形で、先ほど言いました添付資料として資料編につけるということについては撤回をさせていただきたいと思います。ただ、議事録においては委員会の過程でそういうことをやっていますから、議事録を詳細に調べられたらわかるということはありませんけども。

以上です。

**委員長（簀戸利昭君）** それでは、26年5月28日の商工観光課との勉強会、または農業班に戻りますがJA岡山西との勉強会の開催というような形で、このままでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） それと、済いませんが先ほどの資料編についてですが、ほかの委員さんのご意見はいかがでしょうか。資料とありましたが、それを資料編にしてはというご意見がございましたがよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員（柳井一徳君） 大変調査をされて、文言をずっと細かく平米数とか水の量であるとかということを書いていただいとんですが、大変面倒くさいことをお願いかわからんですが、3ページの四季が丘の概要を表でまとめていただいた、すごくわかりやすいんです。これを、できたら近隣市町、例えば5ページあたりの単価が1万4,000円か1万5,000円だとか、面積が3,000平米、この表の中へ割り込めるような書き方ではできないのかなと。このページはこのページでいいですよ。5ページへこの表のように文字を羅列じゃなくて、表だけでぽつと終わらせるということは難しいですか。表へぽんぽんぽんと数字を入れ込んでいただいただけ。これはもう資料編へこの表は載ってるんですかね。

委員長（簀戸利昭君） はい。

委員（柳井一徳君） 載ってるんですね。はい、わかりました。それじゃ、もういいです。

委員（藤原清和君） 今の5ページのこれも、資料8ページ参照となつとりますけども、そこへ詳しく載せるとということで、こういう文言、どういう状況かというのを入れるためにしとるだけで、その辺をご理解いただいて、できたら余りつつかない。

委員（三輪順治君） いやあ、結構でございます。よくできて、本当に、感心、すばらしい。

〈なし〉

委員長（簀戸利昭君） それで、企業等誘致については終わりたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） それで、最終的に農業班との合綴というようなご意見もございましたし、まず合綴をどのような形で行うか、それと次回の委員会の日程もご協議いただけれ

ばと思いますが。

**委員（藤原清和君）** 農業班の場合も、何部か資料編というのをつける可能性もあるということでございますから、こういう文章のところ、企業とあるでしょう。全体として建設水道委員会だから、ぱっと表紙のところへ建設水道委員会でどういったメンバーがやったかということがようわかるように、それだけでまとまったような形にできりゃあええがな思よんです。それで、企業班と農業班は別々にちゃんと資料も全部あるというふうな形にすれば、よくわかるんじゃないかなと思よんですけど、形やパターンは同じような形につくってあるからちょうどええなあ思よんですけど。ただ、先ほどあったように片方は井原市議会と掲載ったりばらばらじゃないような、統一するような形につくっていただけるということが一番じゃと思ひますから、そこだけじゃと思ひますが、後はもう資料があれば資料をつけとくと、ほんなら資料編もあるんですよということであればすっきりしたものができりゃへんかな思よんですけども。

**委員長（簀戸利昭君）** 農業班の方はそれでよろしいですか。

**委員（三輪順治君）** 藤原委員の案に基本的に賛成いたします。その場合やり方は2つ大きく直感的にあると思ひます。

1つは、最初の入り口に当委員会は2つのテーマを本年度の所管事務調査としてやると、その2つは以下のとおりであると。それぞれにおいて、それぞれこれですね、こういうふうにまとめたというやり方が1つ。そうすると全部が生きます。「はじめに」も何もかも全部生きます。

もう一つのやり方は、それを溶け込ませて各論のところは独立して、「はじめに」というところがありますね、それを最初にもうがあつと書いてしまう。その大きく二つあるんですけど、みやしいのは冒頭言いましたように、最初に当委員会としては今年度2つのテーマでやったと。その調査結果は別冊のとおりであると。別冊1が例えば農業班、別冊2が企業等誘致、こういう形が非常に簡便でわかりやすいというふうに思ひますが、いかがでしょうか。

**委員長（簀戸利昭君）** 農業班の「はじめに」からと資料編という形と、企業班の報告書と資料編ということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** 次回の委員会の日程を決めたいと思ひますが、20日の全協までにとということであつたろうと思ひますが、皆さんの日程についてお聞かせください。

**委員（三輪順治君）** 時間的にデータ確認等を含めて最終的な整理をするために事務局の

ほうとも調整事があります、執行部を含めて。16日は物理的に間に合わないので、もしご無理を言えたら20日の議案説明、それから全員協議会、その後に入れていただければありがたいと思っております。

**局長（三宅道雄君）** 今のお話でいきますと23日の議運までということですね。議運のときにはこの報告書、委員会として議決しとるという形になりますので、20日とか19日とかというときにはもう確実に修正のない議決対象のものとして上がってなければならないと。今の流れを見てみますと、議決前にもう一度確認行為をされたほうがいいんじゃないかなというのがありますので、それ以前に1度ないし2度、最終まで2回ぐらいは開けるといふふうな時間的な流れで臨まれたほうが、23日を念頭に置かれておるのであれば無難かなというふうに、時期的には考えるところであります。

かなり前のほうを考えておいていただかないと厳しいのではなかろうかというふうに、事務局としては私としては考えておるところです。

以上でございます。

**委員（三輪順治君）** 以上の事務局長の日程等、事務方のほうのお話を聞きまして16日に無理でも入れていきたいと思っております。16日の全協終了後ということで、午前で終わるか午後になるかわかりませんが、終了後にはまるということでご提案させていただきます。

**委員長（簀戸利昭君）** 2月16日の全協終了後、午前になるか午後になるかはわかりませんが、それでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** それでは、以上で所管事務調査を終わります。

〈その他〉

〈なし〉

〈議長あいさつ〉

**委員長（簀戸利昭君）** 以上で建設水道委員会を閉会いたします。

## 建設水道委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成27年 2月16日 開会 11時15分 閉会 15時15分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

簀戸利昭 三輪順治 柳井一徳 惣台己吉  
大滝文則 藤原清和

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 副議長 上野安是

(3) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄

主任 藤井隆史

### 6. 傍聴者

なし

### 7. 発言の概要

委員長（簀戸利昭君） それでは、皆さんおそろいのようなので、ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

〈所管事務調査〉

〈企業等誘致について〉

委員長（簀戸利昭君） 前回の委員会で、報告書（案）を皆さんに確認していただきました。修正等が必要なところは修正し、事前に皆さんに配付しております。

それでは、協議に入ります。

企業班から補足説明等がありましたらお願いをいたします。



ございませんか。

〈なし〉

委員長（簀戸利昭君） この報告書（案）につきまして、各委員からのご意見を願いたします。

〈なし〉

委員長（簀戸利昭君） ないようでしたら、それでは特に意見等がございませんので、企業等誘致についての所管事務調査（案）について採決いたしたいと思えます。

〈採決 原案可決〉

委員長（簀戸利昭君） ただいま可決されました調査報告書を議長に報告し、本会議で報告したい旨、議長に申し出をいたしたいと思えます。

〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） なお、本会議での報告内容につきましては、委員長にご一任願いたしたいと思えます。

〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） 以上で企業等誘致についての所管事務調査を終了いたします。本件は終わります。

〈農産物の井原ブランド化について〉

委員長（簀戸利昭君） 前回の委員会で、報告書（案）を皆さんに確認していただきました。修正等が必要なところは修正し、事前に皆さんに配付をいたしております。

それでは、協議に入ります。

農業班から補足説明等がありましたらお願いをいたします。

委員（三輪順治君） お手元の報告書（案）の3ページ、4ページの数字につきまして、担当部局、具体的には農林課長さんに数字を全て押さえていただきましたものをここに掲げておりますのを申し添えます。

以上でございます。

委員（藤原清和君） 農産物のほうの9ページのこの2月とあるでしょう。その下に建設水道委員会のこの名簿が載っとりますけども、企業班のほうとはちょっと違うような形で載っとるんじゃないけど……。

これ、同じような格好にしたほうがええかなと思うてやっとなんじやけど。企業班と同じように、字も小さいけど。

私しゃ、こちらの農産物のほうが字は小さいし、こちらのほうの同じような形に横にしたほうがええんじゃないねえかなと思うたんじゃないけど。

委員長（簀戸利昭君） 藤原委員さんがおっしゃいました統一してはどうかというご意見でございましたが、いかがいたしましょうか。

委員（三輪順治君） 私はどちらでもいいと思うんですが、提案されました藤原委員さんのお気持ちはどちらがよろしいんでしょうか。

委員（藤原清和君） そら、11ページのほうの、同じようにこう載せてもええかなと思ひよんです。そしたら、スペースが、スペースがこっちはたくさんあるから縦になつとんじやろう。スペースがないから横になつとんかなと思うけども、どちらがいいかというのは、どういのがええんかなというのはわかりませんが。同じような形にとれるならとったほうがええかなと思うたんですけど。

委員（三輪順治君） 今の中身は同じようなスタイルでという表現方法ですね。ですから、これはもう物理的な作業ですので、事務局ともども、委員長と事務局にお任せしたいと思います。統一していただきたいということで私はそれで結構だと思います。

以上です。

委員長（簀戸利昭君） 統一というご意見でしたが、よろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

委員長（簀戸利昭君） 意見がないようなので、そのようにさせていただきます。

3ページ、4ページですが、数字の足し算が違うというようなご指摘がありました。

農家数、農家戸数の減少ということで、最初でいうと、平成12年が3, 579戸、平成22年が2, 856戸のうちの販売農家戸数、内訳ですが、1, 225戸と自給的農家の

1, 628戸を足した場合に22年の2, 853になるのではなかろうかというようなことと、あとアールとヘクタールが混在しとるということです。

それと、井原市のデータであるが、どこまでなのかがわかりづらいということですね。

それと、県のデータもところどころ入っているようなので、どこがどうなのかという表記がやっぱり要るのではないかというようなことであります。

**委員（三輪順治君）** 実は、ここにありますものが、農林課長において数字をチェックしてもらった結果で、これを写しとって今お手元のような数字になってますので、改めてもう一度確認します。

今、ですから、販売農家数が、これは下一桁が3ですね、数字で言えば、足せば、ですから前の22年の数字は3ですけど、足してもいけません、確定数値と速報数値の差が多分起因しとると思われますので、確定数値を使っていくと多分2, 856であると思います。ですから、3がどっちかに反映されてないということですね。それは確認をさせていただきます。

それから、ヘクタールとアールは、これは当然桁数が余り多くなるとヘクタールにしてまして、そうでない場合はアールにしています。特に強調したい点については、例えば耕作放棄地なんかでも、ヘクタールにすると、実際は4, 000アールですけど、40ヘクタールですね、減少してますけど、これは余り違和感はないんですけども、もし統一せえということになりゃあ、まあヘクタールならヘクタールに全部統一してもよろしいかと思えます。

それからもう一つ何やったかな。もう一つ何やったかな。

あ、県か。

あ、それから、岡山県のデータがところどころ出てますが、これは特にとっても構いませんけども、もしやるんじやったら点線で囲むとか何か工夫を最終的にはさせていただきます、県と市の数字の区別をしっかりとさせていただければというふうに思ってます。

ですから、もう一回おさらいしますと、数字はもう一度農林課長に確認します。

それから、ヘクタールとアールについては、違和感がなければこのままでやらさせていただきます。

それから、最後に、岡山県データを載せておりますが、わかるように表記をしたい。今言ったおさらいがそういうことです。

以上です。

**委員（大滝文則君）** 濟いませぬ。ちょっと確認、僕も忙しくて申しわけなかったですが、数字が違うというのは一番ちょっとまずいとこなんで、三輪さんがされとんで信じきってりましたからチェックしていないので申しわけないんですけども、本当、4ページでも、岡山県の平成12年が9, 600アールで、井原市が1万9, 887ヘクタールで、岡山県

の面積よりも井原市のほうが多ゆうなつとということがこれは考えられんことで、ちょっと、これはちょっと再度チェックしてから数字だけはしとかんと、これちょっとまずいなというふうに。

委員（三輪順治君） あ、これは、アールじゃね。これは違う。これは、アールですね。ああ、ごめんなさい。

今、耕作放棄地は、これは単純ミスで、ヘクタールじゃなくて、これは表記はアールが正しいです。ですから……。

委員（柳井一徳君） アールにしてもおかしい。

委員（大滝文則君） 農林課のほうへちょっとチェックをしてから……。

委員（三輪順治君） 農林課へチェックしてもら……。ちょっと今、農林課にチェックしてもらった耕作放棄地面積は、平成22年は1万9,887アール、耕作放棄地は21.8%、県内の27市町村の耕作放棄地のうち岡山市の838ヘクタール、高梁市の304ヘクタールに次いで6番目に多い。これが農林課長がチェックした。

いや、だから、上がヘクタールで、下がアールの間違いじゃないかな。ちょっと済いません、確かに。

再度、この終わった後、農林課へ行って最終確認させていただきまして、数字にぶれがあっちゃあいけませんので、まことに相済みません。信じていただいております数字が違ったということは、大いに反省をしております。したがって、最終的に委員長とも相談して、最終数字に精査していただきますので、よろしくお願いします。

委員長（簀戸利昭君） 今、再度確認するというございでしたが、いかがいたしましょうか。

委員（藤原清和君） ちょっと確認とつてもらうて、正確なものにやりかえにゃあいけん場合にはやりかえてもらって、最終的に出していただくという形でいいと思います。

委員長（簀戸利昭君） 確認はせんのですか。

委員（藤原清和君） これはもう正副委員長に責任持ってやってもらおうと。

委員長（簀戸利昭君） いや、それはちょっと。

委員（三輪順治君） いや、もうしましよよ。もうこうなつたら。

委員長（簀戸利昭君） 委員会の報告になるわけですから皆さんで目を通していただかんと、なかなか厳しいものがあるかなと思います。

委員（大滝文則君） ちょっと前回出してもらった資料、その数値と違うんで、ちょっとこの数字、数字というのが、毎回ころころころ変わつてもろても困るし、ちょっとどれが正解なんか全くこれじゃあわからんようになってくるでしょう。どういうふうに見りゃあええんですかね。

**局長（三宅道雄君）** 今、農林課長のほうでご確認されていると、ご確認されるというふうなお話でございましたけれども、出典数字というのは、恐らく県の統計データなりあるいは国の調査結果なりというものだろうというふうに思うわけですが、そちらの元データの資料のほうをコピーしたものを皆さん、委員さん皆様でご確認いただいたほうが間違いがないのかなというふうに考えます。ですから、副委員長さんがお示しいただいたデータのもとになつとるページをコピーして皆さんにご配付いただければ本件は解決するのかなというふうに思っております。

以上でございます。

**委員（三輪順治君）** 今、事務局長さんのほうから大変貴重なご示唆をいただきましたので、そういった方法で各委員に伝え、確認をしていただくような形で数字を固めていきたいと、このように思います。よろしく願いいたします。

**委員長（簀戸利昭君）** 数字の確認、元データを出典を明らかにするというので。

では、この所管事務については、ほかにご意見ございますでしょうか。

**委員（大滝文則君）** 違ったまま、きょう了承せないけないんじゃないです。その辺どうなんです。

**委員長（簀戸利昭君）** いや、基本的には、きょうで仕上がり、この会議で仕上がったかにゃあいけんのんですけど。

**委員（大滝文則君）** 先ほど言うたように、前回出した数字と全然きょうは違うものと、僕は合うとるものと思うとったけど全く違うもんが来とるんで、耕作放棄地のこともそうじゃし、年齢別の経営者数、全く違う数値になつとるんで、そういうことを想定しとらんかったもんで、よく確認してやっていかんと、もうこの委員会だけのことじゃおさまらんような気がしますんで、その辺あたり、もうちょっと整理してから、なぜ変わったんかということも含めて、副委員長、どうなんですかね、これは。

**委員（三輪順治君）** 実は、井原の図書館へ行ってもみたんですが、実は最初平成2年と22年を比較しようと思うて20年間を見ようと思うたんじゃけど、井原図書館には平成12年以前がもうないんです。農林業センサスが。どこにあるかというてお聞きしたら、岡山県立図書館と岡山市立図書館と倉敷市立図書館と岡山大学と、こういうふうにおっしゃいました。物理的に入手が不可能だったので、平成12年に数字をさせていただいてはおります。

今おっしゃったように、確かに数字が前私が拾うた数字は、実はパソコンで画面を見ながら数字、電卓をたたいた関係で少し移動がありましたことは私の責任においておわびをいたしたいと思います。

このたび事務局長からご提案がありましたような形で元データのコピーを確認し、そして

皆様にお渡しし、そしてその数字を私を含めて農林課も同じような作業になると思います  
が、数字を固めていきたいと思います。

いずれにしても、数字が変わるということは絶対的な信頼においてもとることになり  
ますので、この数字については、既に農林業センサスが確定しておりますものを再編集し  
ておりますから、もう動くことはないと思いますので、最終確定版については、そのよう  
な形で作業を進め、皆様のご理解をいただきたいというふうに思っております。

ですから、過去の数字は、今委員さん見られてます数値につきましては、私が計算ミス  
をしたということでご理解をいただきたいというふうに思います。

以上です。

**委員（大滝文則君）** 済いません、ちょっと繰り返しになりますけども、前回井原市の現  
状の中で示されとる数字というのは、853戸なんです。前回合つとるんです。

その後どういうふうにして変わったのか、どっちが正しいんかが全くわからん。さっき言  
われたように、局長が言われたように、もとのデータを見せてもらって判断せんと、どれが  
正解なんかというのがわからんままで審議するというのも審議もしにくいし、それから無論  
それによって異議なしとみないか、了承を得ることもできないと思うんで、ちょっとそのあ  
たりのデータを、もともなったデータを先ほど局長が言われたように出してもらってそれか  
らの審議にしたほうがいいかと思うんですけども。

**委員長（簀戸利昭君）** もとデータをきちっとして再度精査するというので、農業班の  
ほうでしていただけますか。個人でなかなかするというわけにはいかんので、今まで各班  
に分かれてきてやってきたわけですから、各班で責任を持ってしていただかないと、個人、  
委員長、副委員長一任では、今回はちょっとどうにもならんのかなと思います。

**委員（惣台己吉君）** きょうのやつは、この前5ページでしたら平成2年が12年に直す  
とか、そういうことのチェックということだけだったんで、今のお話の内容でしたら、も  
う、このデータ、その以外のことも変わってるということになると、やっぱり今委員長言  
われたように、農業班でしていただかないとだめかなと思います。この文書自体が変わった  
ということですから。内容自体が。

**委員（大滝文則君）** この先ほど言ったように、基本的に後々のスケジュールからいう  
間に合うんですかね。

**委員長（簀戸利昭君）** それは私ではちょっとわかりません。

**委員（三輪順治君）** きょうじゅうにデータの複写を手に入れます。ちょっと聞いてくだ  
さいね。きょうじゅうに複写をとりに行きます。そして、それをPDFにしてお送りしま  
す。それを確認してください。きょうじゅうに数字を確認したいと思います。よろしくお願  
いします。

委員長（簀戸利昭君） 協議はされなくてよろしいですか。

委員（大滝文則君） 先ほどの農林課長に聞いてデータを示さすだけだったら、農林課長のところへ行きゃあこのデータはあるんですかね。

そしたらもう、きょうじゅうに済ませたほうがええんじゃないんですか。

委員（柳井一徳君） 3人でおりにゃあええが。

委員（三輪順治君） はい、いいですよ。

委員（大滝文則君） この後すぐ。この後。

委員（三輪順治君） そういう農業班の気持ちが一一致すれば、それはそれで結構でございますんで、よろしくご協力をお願いしたいと思います。

委員長（簀戸利昭君） それでは、農業班のほうで協議するということであります。

この後、いかがいたしましょうか。全員で目を通すという話になかなかならないので。

委員（大滝文則君） ご迷惑かけとるんで、もう大至急チェックして正しい数字を把握しなくてはいけないので、その後に企業班の方に配信するというところでどんなんでしょうか。もう一回寄らにゃあいけんのんじゃないら、本当にご迷惑かきよるからしとかにゃいけんいうても、この後のスケジュールはどうなんですかね。

委員長（簀戸利昭君） スケジュールは、今後の予定は、事務局、どうなりますか。

主任（藤井隆史君） 前の予定では、議運のところまでには、報告書を議長に提出をされて、申し出もされているということになっておりますので、それまでに決定をしていかないといけないということになりますので、本来はきょうで確定をさせるという予定でしたので、もう大至急ということになると考えます。

委員（大滝文則君） まことにご迷惑かけておるんですけども、19日の、もうあと数字のチェックだけなんで、19日の、それこそ時間をとっていただいて委員会を開催してもらうということではできないのでしょうか。

局長（三宅道雄君） 19日の予定を申し上げますと、まず午後、組合議会が2つ入っています。その後、15時から市民福祉委員会の開催のご予定になって、この3つが議員さん方関連のものでございまして、19日であいておりますのは、恐らく午前中があいているのかなというところではございますけれども、19日に都合の悪い委員さんもいらっしゃるということもお聞きしております。

以上でございます。

委員（三輪順治君） 大変ご無理を、企業班の方にはかけとる、農業班にもかけとんですが、きょうじゅうに数字を確定いたしまして、複写、PDF化とともにデータを皆さんのほうにお手元にお渡しして、その数字だけでええか、この起こしたで問題であれば、3、4ページのところをご理解いただいて、そういう形で運用して確定させていただくということで

よろしいんじゃないかと私はと思いますが、それでもまだ委員会を開かないけんということであれば、それは無理してでも入れにゃいけません。

**委員（大滝文則君）** 数値の確認というのはきょうじゅうに、PDF云々じゃなしに、きょうじゅうにすぐこの会議が終わったらしなくてはならないと思うんですよ。そんなもう悠長な話は、即やってチェックして、あとその確実なもので決まったものを確認を、一応この委員会として了承してもらうことをいつとるかという話を今しようるわけであってから、それが可能なんか、スケジュール的に可能なんかどうかという話だけを今しようるんです。その数字、数値の確認は大至急、これだけ迷惑かけとんですからしなくてはならないことで。

**委員長（簗戸利昭君）** 先ほどの数値の出どころをきちっとするというので、農業班の方にしていただいて、午後2時から委員会を再開いたします。よろしくお願いします。

### 〈休憩〉

**委員（三輪順治君）** 先ほど、午前中に提出いたしました報告書（案）について訂正箇所を申し上げますので、ご確認をお願いしたいと思います。

3ページをお開きいただきたいと思います。

3ページの上から数字的には2段目、これが前回は平成22年の農家戸数でございましたが、2,856となっておりますが、これを2,853戸に修正をさせていただきます。

それから、その下の内訳でございますが、面積がアールとなっておりますところを、数字の調整も含めまして、上の販売農家の面積を961ヘクタールに変更させていただいております。

続いて、3行下の自給的農家の面積を303ヘクタールにさせていただいております。

それから、ご指摘のありました岡山県との比較の数字が入り乱れておるんで網かけをさせていただきます。

次に、このページ、下から5行目、経営耕地面積の減少の中、平成12年、この数字がヘクタール表示で1,349ヘクタール、それから平成22年が961ヘクタールということでございます。岡山県の出荷額については、網かけでございます。

次に、4ページをお開きください。

4ページにつきましては、耕作放棄地でございますが、平成12年の数字が約という表現でしてございましたが、正確な数字ということで9,555ヘクタール、それから平成22年が11,075ヘクタールというふうに変えさせていただいております。

それから、点線で囲んだ部分でございますが、これが井原市のまず耕作放棄地の面積を、そこにありますように940ヘクタールに変更させていただいております。



それから、耕作放棄率が42.6%と変更させていただいております。

それから、米印のところでございますが、県内27市町村の云々のところ、岡山市のデータが1,320ヘクタール、次に高梁市と一緒にみましたが誤りでございまして、笠岡市の1,040ヘクタールに次いで6番目と書いておりましたが、これは3番目に多いというふうに訂正をさせていただきます。

それから、下へ移りまして、年齢別経営者数は同じでございます。

それからあと、網かけで岡山県のデータを示しております。

あと、以上のデータ出典は2010年農林業センサスによるというふうに入れさせていただきました。

以上、大変ご迷惑をおかけしましたが、訂正をさせていただきますして本委員会に改めて提出させていただきますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

なお、お手元のほうに、出典データの写しを置いておりますので、後でご確認いただければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

**委員長（簀戸利昭君）** 今ご説明がございましたが、何かご質問等あれば。

**委員（柳井一徳君）** 今の副委員長の補足で、9ページ、藤原委員からご指摘があった名簿を横並びにしております。

以上です。

**委員長（簀戸利昭君）** ほかに補足説明がなければ。

委員から何かまだありますでしょうか。

もう少し待ちましょうか。

**委員（大滝文則君）** 3ページの農家、販売農家に係る農家戸数、ハイフンの及び人員の減少の文言ですけども、ハイフンをとって及び世帯何とか、世帯員数の減少ということで、農林業センサスの文言に合わせたほうがいいんじゃないかと思うんですけどもどうでしょうか。

**委員長（簀戸利昭君）** 今、中ほどですが、販売農家に係る農家戸数、ハイフンをとって及び世帯員数の減少ということで訂正が出ましたが、いかがでしょうか。

#### 〈異議なし〉

**委員（大滝文則君）** 4ページ。4ページの中辺ですけども、この数値というのが同じようにしないと、年齢別経営者数というよりも、やっぱり年齢別世帯員数のほうがいいのかと思うんですけども。この経営というのは農業に、完全に農業だけを就業している人間の数からするとかなり差異が出てくると思うので、データをこの農林業センサスの報告書だけ、

これを中心というか、これをもとにとすると、先ほど言うたように、これも年齢別世帯員数のほうへ変えなければいけないというふうに思いますがどうでしょうか。

**委員長（簀戸利昭君）** 今、大滝委員のほうから、意見として、4ページの真ん中辺の年齢別経営者数を世帯員数にしてはどうかというようなご意見がありました。いかがいたしましょうか。

〈異議なし〉

**委員（大滝文則君）** これ、先ほどちょっと県のほうへ、井原市の農村整備室のほうへデータ的なものをお願いしたら、専業農家というか経営別の農家戸数等とも聞いたんですけども、やっぱり見るものによってかなりデータの差がありますので、これ、農林業センサスでいくとすると、文言を同じものを合わせとくと、統計資料によってかなりちょっと数値が違うようなので、この農林業センサスならセンサスだけに合わせた文言に変えたほうがいいんじゃないかと思ひまして、後からどっからピックアップしとんならという問い合わせがあったときに、ここですということを示すためにも、文言は統一したほうがいいのかなという気がしますので、ご検討ください。ちょっと先ほど、休憩したときに数字ばかり見よって文言についてちょっとチェックしてなかってまことに申しわけないんですけども、どうでしょうか。

**委員長（簀戸利昭君）** 年齢別世帯員数で、この人数自体は男女計4,495が違うというわけではないんですね。農林業センサスによると。ですから、経営者数を世帯員数に直すということでもよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** ほかに何かございますでしょうか。

〈なし〉

**委員長（簀戸利昭君）** それでは、特にご意見等がございませんので、修正をいたしました農産物の井原ブランド化についての所管事務調査報告書（案）について採決いたしたいと思ひます。

〈採決 原案可決〉

委員長（簗戸利昭君）　ただいま可決された調査報告書を議長に報告し、本会議で報告したい旨、議長に申し出をいたしたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（簗戸利昭君）　なお、本会議での報告内容につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（簗戸利昭君）　以上で農産物の井原ブランド化についての所管事務調査を終了いたします。本件については、これで終わります。

〈その他〉

〈なし〉

委員長（簗戸利昭君）　なければ、建設水道委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。